

## 考えた菓子や軽食いかが 県内5校の高大生 知事に披露



半田商業高の生徒が考案したコオロギのクッキー＝名古屋市中区三の丸3の県公館で

県内5校の高校生、大学生のアイデアを基に、四つの商店街がそれぞれ商品化したお菓子や軽食が一日、県公館で披露され、大村秀章知事が試食した。

五校は、半田商業高、春日井商業高、名城大、名古屋学院大、愛知学院大。春日井商業高の生徒は、地元春日井市名産の食用サボテンの蜜漬けを生地に練り込んだ鬼まんじゅう、愛知学院大の学生は、緑が多い愛・地球博記念公園（長久手市）にちなみ、鮮やかな抹茶ケーキを考案した。

半田商業高は、世界的に昆虫食が注目されていることから、粉状になったコオロギを使ったクッキーを考案した。同校二年の齋藤晴花さん（も）は「エビのような後味を楽しめるクッキーです」と話した。

大村知事は「どれもおいしい。名物として県を盛り上げてほしい」と激励した。商品は十二、十三日に金山総合駅（名古屋市熱田

区）で開かれる「商店街逸品・名品フェスタマーケット2021」に出展される。  
（鍵谷朱里）